

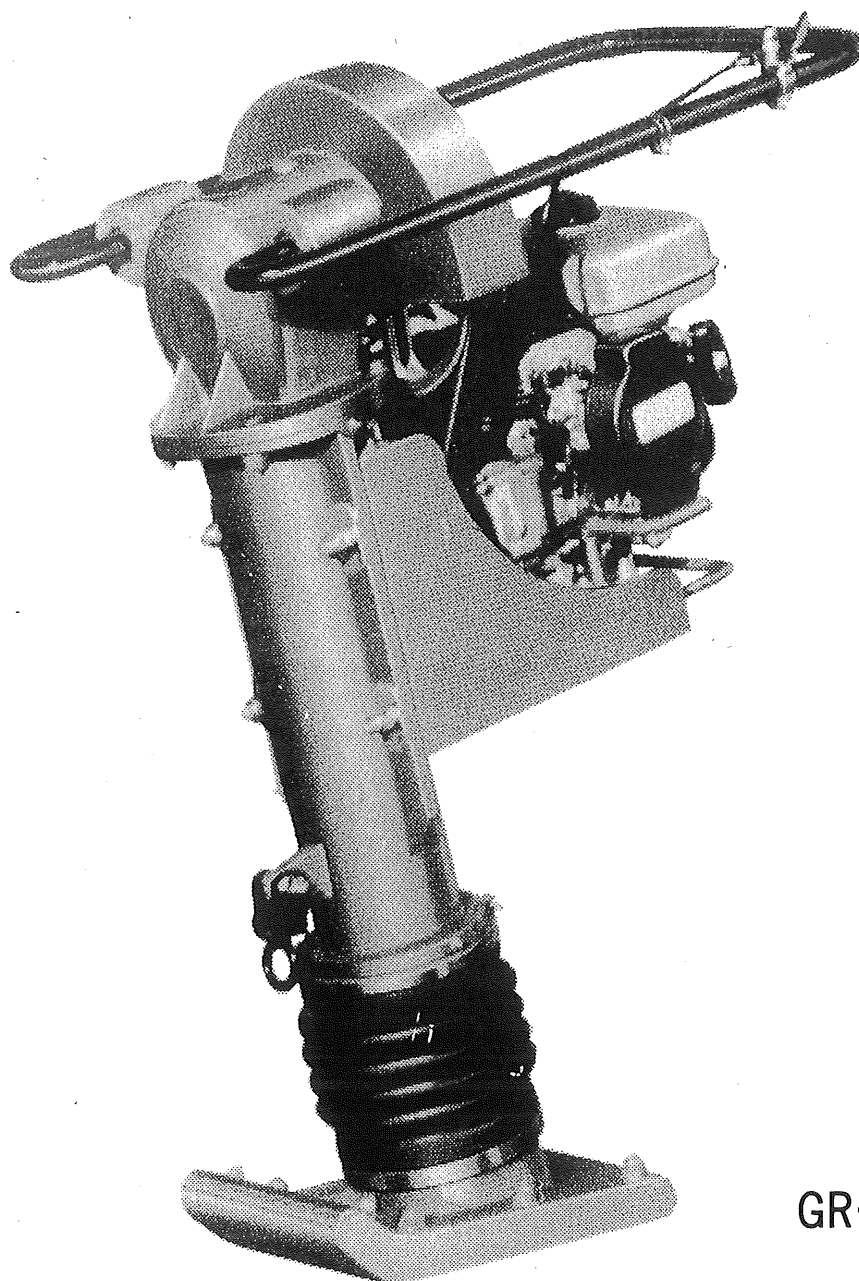
RYOBI

振動ランマー

GR-600・GR-800・GR-900・GR-1000

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。



GR-600

目 次

1)仕 様	1
1-1 GR-600型	1
1-2 GR-800型～GR-900型	2
1-3 GR-1000型	3
2)運転前の整備点検	4
2-1 締付部の点検	4
2-2 グリースの給脂	4
2-3 燃料タンクの給油	4
2-4 エンジン調速機室のオイル点検	4
3)エンジンの始動	5
3-1 始動方法	5
3-2 暖機運転	5
4)本体の運転	5
4-1 運転方法	5
4-2 締固めは土質に応じて運転	6
4-3 軟弱土質での運転	6
4-4 寒い時の運転方法	6
5)本体及びエンジンの停止	6
5-1 本体運転の停止方法	6
5-2 エンジンの停止方法	6
6)点検と整備	7
6-1 毎日の手入れ	7
6-2 1週間毎の手入れ(50時間毎)	7
6-3 1ヶ月毎の手入れ(200時間毎)	7
6-4 長時間使用しない時の保存方法	7
6-5 Vベルトの調節方法	8
7)GR-1000型	9
7-1 ジャバラの交換方法	9
7-2 GR-1000型サイドスプリングの交換方法	10
8)故障早見表	11
9)部 品 表	13
GR-600	13
GR-800、GR-900	14
GR-1000	15

GR-600型

1)仕 様

名 称	振動ランマー
型 式	GR-600
自 重	69kg
本 体 の 高 さ	900mm
ハ ン ド ル の 高 さ	870mm
全 幅	350mm
全 長	700mm
打 撃 板 (幅×長)	200mm×330mm
打 撃 数	500~700回/毎分
打 撃 ス ト ロ ーク	30~60mm
締 固 め 力	6 トンローラーに匹敵
規 定 エ ン ジ ン 回 転 数	4,600rpm

搭 載 エ ン ジ ン

名 称 及 型 式	ロビン EC08B 型
種 類	2 サイクル空冷ガソリンエンジン
行 程 容 積	78.5cc
最 大 出 力 / 回 転 数	3.3PS / 2200rpm
連 続 定 格 出 力 / 回 転 数	2.2PS / 1800rpm
使 用 燃 料	混合油 (ガソリン25 : オイル1)
燃 料 消 費 率	380g / PS. h (連続定格出力時)
燃 料 タ ン ク 容 量	1.5 l
始 動 方 式	リコイルスターター式
伝 動 方 式	2 本Vベルト、遠心クラッチ付
乾 燥 重 量	8.8kg
付 属 品	本体及びエンジン用修理工具 1 式

但し本仕様は予告なしに変更する事があります。

GR-800型～GR-900型

1)仕 様

名 称	振動ランマー
型 式	GR-800、GR-900
自 重	85kg 89kg
本 体 の 高 さ	900mm
ハ ン ド ル の 高 さ	830mm
全 幅	440mm
全 長	850mm
打 撃 板 (幅×長)	300mm×330mm 300mm×330mm
打 撃 数	500～700回/毎分
打 撃 ス ト ロ ーク	30mm～60mm
締 固 め 力	8トン～9トンのローラーに匹敵
規定エンジン回転数	4,600rpm

搭 載 エ ン ジ ン

名 称 及 型 式	ロビンEC-10B型
種 類	2サイクル空冷ガソリンエンジン
行 程 容 積	98cc
最大出力/回転数	4.0PS/2000rpm
連続定格出力/回転数	3.0PS/1600rpm
使 用 燃 料	混合油 (ガソリン25:オイル1)
燃 料 消 費 率	360g/PS.h (連続定格出力時)
燃 料 タ ン ク 容 量	2.5ℓ
始 動 方 式	リコイルスターター式
伝 動 方 式	2本Vベルト、遠心クラッチ付
乾 燥 重 量	15.4kg
付 属 品	本体及びエンジン用修理工具 1式

但し本仕様は予告なしに変更する事があります。

GR-1000型

1)仕 様

名 称	振動ランマー
型 式	GR-1000
自 重	100kg
本 体 の 高 さ	900mm
ハ ン ド ル の 高 さ	830mm
全 幅	440mm
全 長	850mm
打 撃 板 (幅×長)	330mm×380mm
打 撃 数	500~700回/毎分
打 撃 ス ト ロ ーク	30mm~60mm
締 固 め 力	11トンローラーに匹敵
規 定 エ ン ジ ン 回 転 数	4,600rpm

搭 載 エ ン ジ ン

名 称 及 型 式	ロビン EC-10B 型
種 類	2サイクル空冷ガソリンエンジン
行 程 容 積	98cc
最 大 出 力 / 回 転 数	4.0PS / 2000rpm
連 続 定 格 出 力 / 回 転 数	3.0PS / 1600rpm
燃 料 燃 料	混合油 (ガソリン25 : オイル1)
燃 料 消 費 率	360g / PS.h (連続定格出力時)
燃 料 タ ン ク 容 量	2.5ℓ
始 動 方 式	リコイルスターター式
伝 動 方 式	2本Vベルト、遠心クラッチ付
乾 燥 重 量	15.4kg
付 属 品	本体及びエンジン用修理工具 1式

但し本仕様は予告なしに変更する事があります。

2) 運転前の整備点検

2-1 締付部の点検

機体各部のボルト・ナットにゆるみがないかを良くたしかめ、ゆるんでいる場合には完全に締付けて下さい。

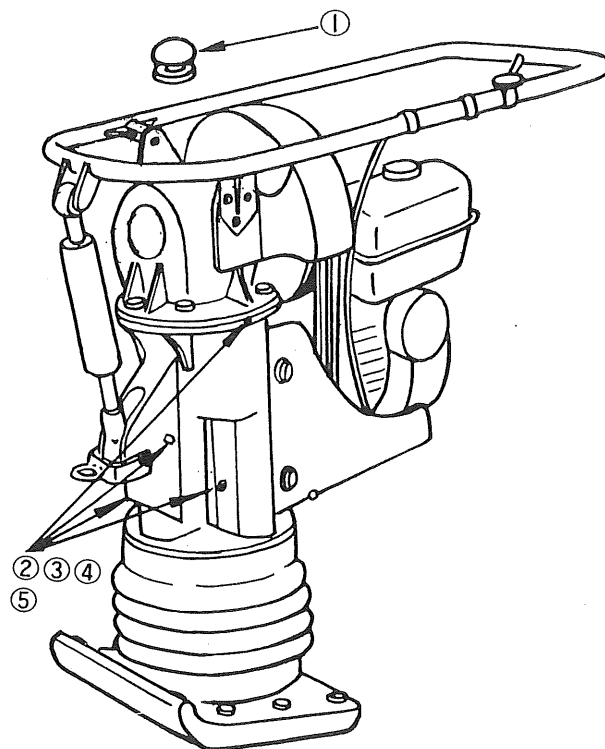
2-2 グリースの給脂 (第1図参照)

「グリース」のマークのある②～⑤の個所のグリースニップルにグリースガンにて給脂をして下さい。
(クランクケース①のゴムキャップを取り外してグリースを給脂して下さい。)

2-3 燃料タンクへの給油

混合比はガソリン25：2サイクル専用オイル1の割合の混合油を入れて下さい。

なお使用始めの10時間は混合比20：1の混合油を使用して下さい。



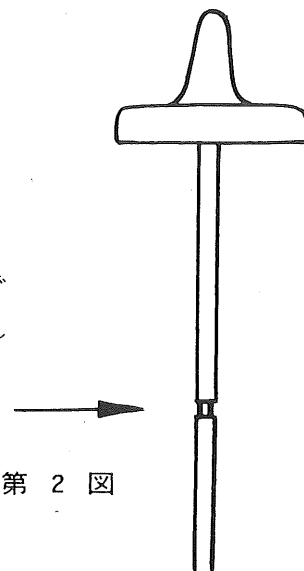
第1図

◎注意

絶対にガソリンのみでエンジンを回転せぬ様ご注意ください。
エンジンが焼付きます。

2-4 エンジン調速機室のオイル点検 (第2図参照)

調速機室のオイルは検油棒で点検し、きざみ線まで入っていない場合にはSAE #30自動車用モーター油を補給して下さい。



第2図

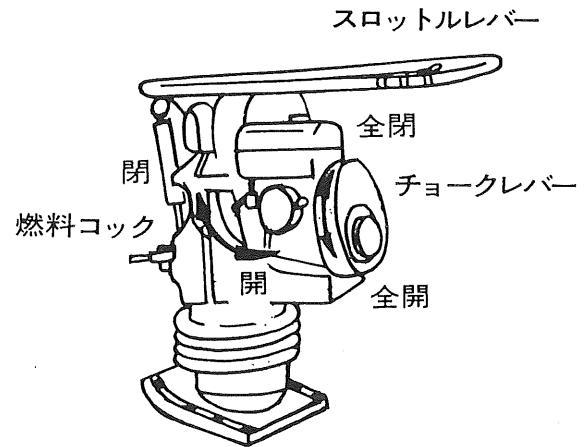
3) エンジンの始動

3-1 始動方法〔第3図参照〕

燃料タンク下にある燃料コックを開き、気化器のチョークレバーを上げて全閉にします。(寒い時は全閉にしますが暖い時及びエンジンが暖っている時の再始動は半開又は全開等適当に調整して下さい)

次にスロットルレバーを高速と低速の間に位置し、リコイルスターターを勢よく引張るとエンジンが始動します。

エンジンが始動したら爆発音を聞きながらチョークレバーを徐々に全開にします。



第 3 図

3-2 暖機運転（低速運転）

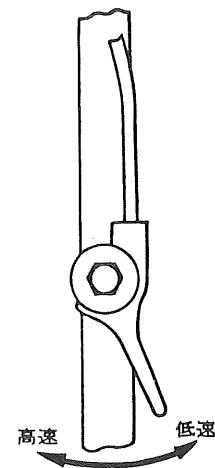
エンジンが始動したらそのままの状態でもエンジンを低速にて3～5分間（冬季間5～10分間位）位空転させて暖機運転を行って下さい。

4) 本体の運転

4-1 運転方法

ハンドル左側に付いているスロットルレバーを高速の位置まで一気に廻すとエンジンの回転が高速となり遠心クラッチが作動して、振動ランマーは作動を始めます。この場合ゆっくりと回転を上げますと振動ランマーの作動が不規則となり、又遠心クラッチが半クラッチ状態で焼付の原因ともなりますので是非ご注意下さい。

スロットルレバー〔第4図参照〕



第 4 図

4-2 軟弱土質での運転

軟弱土質で本体の進みが遅い時はシリンダー前面の引金具にロープを付けて引張って下さい。

4-3 寒い時の運転方法

寒い時には内部のグリースが固まっているために、振動ランマーが不規則な動きをする事があります。この場合にはスロットルレバーを、始め高速から低速へ、低速から高速へと数回くり返すとグリースが柔らかくなり正常な運転を行う事が出来ます。

5) 本体及びエンジンの停止

5-1 本体運転の停止方法

ハンドルに取付けてあるスロットルレバーを高速から低速に戻すと、エンジンの回転は低速になり遠心クラッチが自動的に切れて振動ランマーの運転が停止します。

5-2 エンジンの停止方法

燃料コックを閉めてエンジンの停止ボタンを押してエンジンを止めて下さい。尚長時間連続使用後は3～5分間位低速回転で空転の上エンジンを停止して下さい。

◎注 意

燃料コックは運搬する時も含めて必ず閉めて下さい。

6)点検と整備

6-1 毎日の手入れ

各部分のホコリ、油等はきれいに掃除して下さい。 2-1 (締付部の点検) 2-2 (グリースの給脂)等、エンジン、本体各部を常時点検しておけば機械の寿命も永くなり直ちに作業する事が出来ます。

6-2 1週間毎の手入れ (50時間毎)

エヤークリーナーのエLEMENTが汚れたり、目詰りをした場合は (締固め力及び速度の低下) 取外して燃料で洗い、しずくを切ってから、混合油に (ガソリン 2~4 : モービル油 1 の割合) 浸し固く絞って取付けて下さい。 点火栓 (プラグ) が汚れている場合には紙ヤスリ等で磨いて間隙を 0.5mm ~ 0.6mm に調節します。

◎注 意 エヤークリーナーELEMENTの取付けを忘れてそのまま作業をしますとエンジンの寿命が半分以下になります。又砂塵多い場所及び火山灰地帯等の作業終了後は特にELEMENTクリーナーの手入れをして下さい。

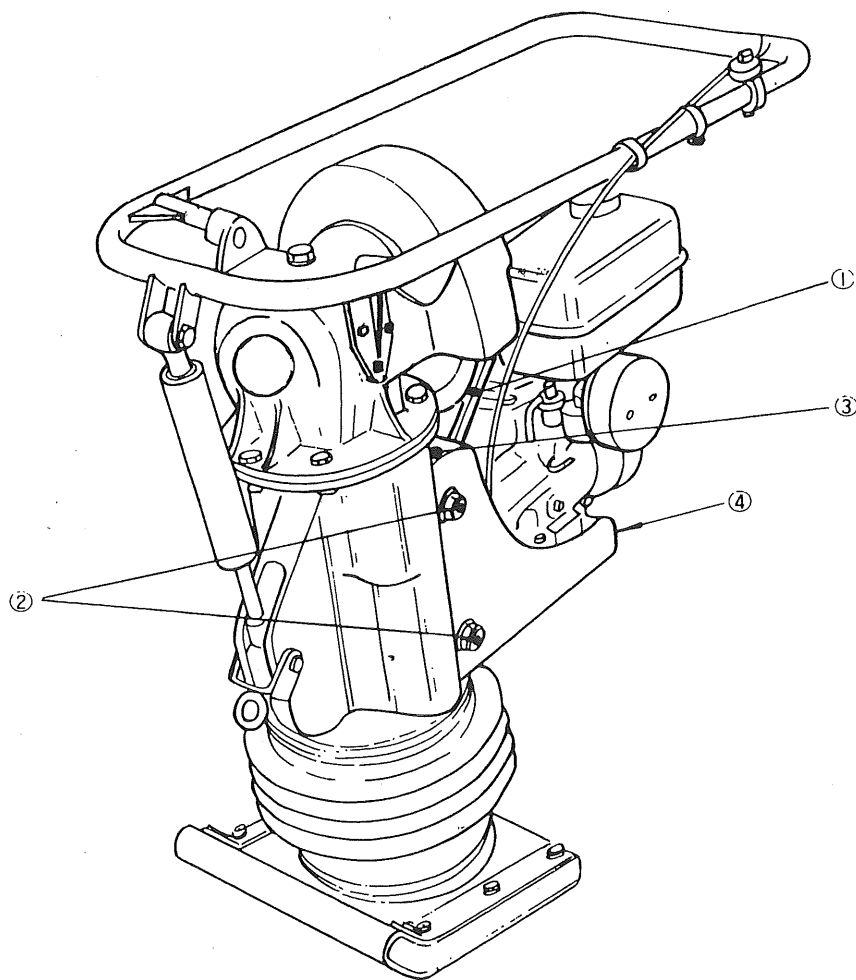
6-3 長時間使用しない時の保存方法

- (A) 工事が終って長時間使用しない場合は燃料フィルターを外してタンク内の燃料を抜き、気化器 (キャブレーター) のフロート室下部の栓をゆるめて燃料を抜いて下さい。
- (B) 点火栓 (プラグ) を外してモービル油を数滴エンジンシリンダー内に滴下しリコイルスターターを静かに引いて内部に充分油をゆきわたらせてからプラグを取付けて下さい。
- (C) リコイルスターターを引いて重くなった位置で停止させ外部を油布で清掃の上、湿気の少ない場所に格納して下さい。

6-4 Vベルトの調節方法

Vベルト①が伸びてスリップしている場合にはエンジン台の取付ボルト②を（両側合計4ヶ所）ゆるめてから調節ボルト③（2ヶ所）を廻して調節して下さい。（第5図参照）両軸により張ってあるVベルトの中間を指で押し（約2kg）5mm～7mmへこむ程度に張って下さい。

◎注意 Vベルト調節後作業前にもう一度締付けを確かめて下さい。分解作業はゴミ、ホコリ等のない場所で行って下さい。又分解は機械知識のある人をお願いします。

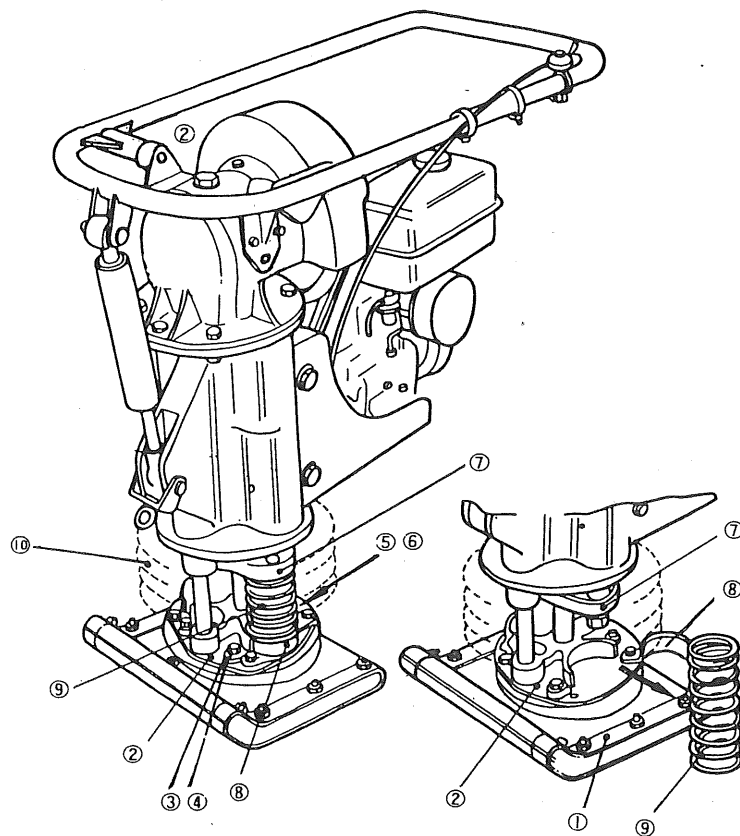


第 5 図

7)GR-1000型 (修理、分解が容易)

7-1 ジャバラの交換方法

- A. ジャバラの交換の場合は次の順序の様にランニングシューを取外し、入れ替えます。
- B. ① ジャバラ⑩の上下に付いているジャバラ止めバンドを取外します。
- ② ジャバラ⑩を上押しランニングシュー①とフートブロック②をとじている皿ボルト③のナイロンナット④を外します。
- ③ 皿ボルト③を抜きフートブロック②からランニングシュー①を外します。
- ④ 古いジャバラ⑩を取り外し新しいジャバラを入れ分解した順序と逆の順序に従って取付けて下さい。



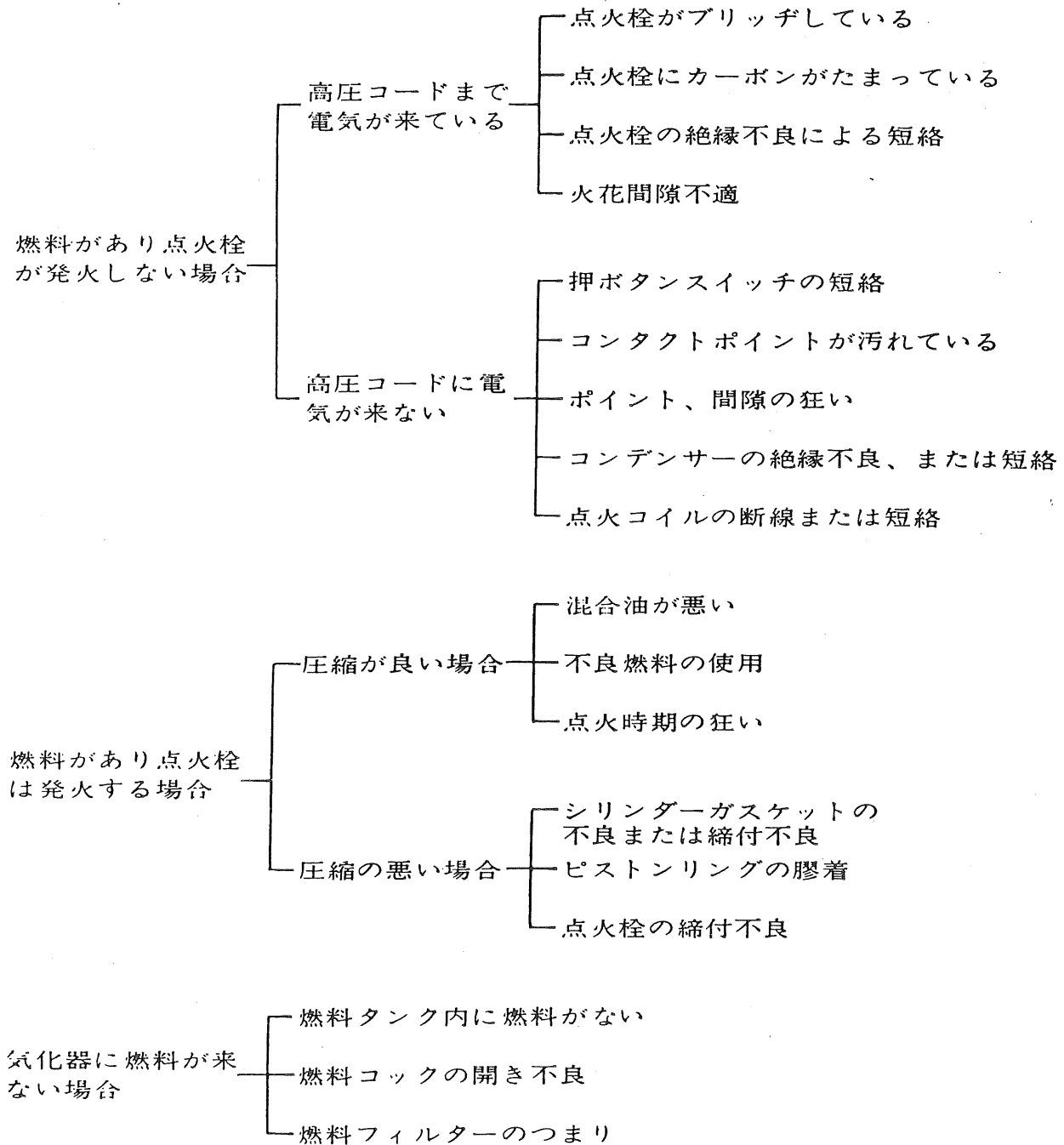
7-2 GR-1000型サイドスプリングの交換方法

◎分解は機械知識のある人をお願いします。

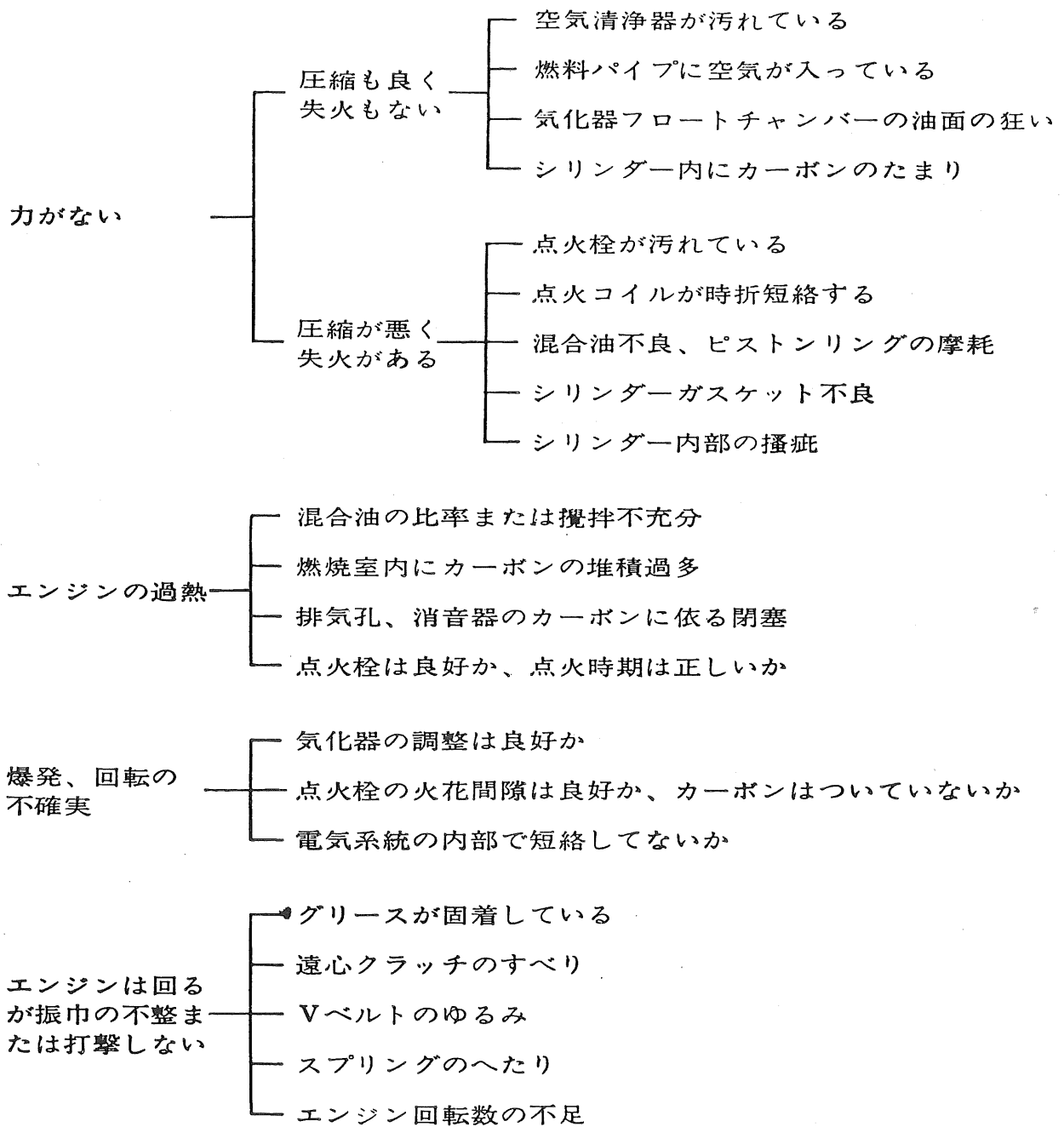
- (A) ジャバラの上下のジャバラ止めのバンドを外すフートブロック②の後側に付いているジャッキボルト⑤を廻し（但しジャッキボルトを廻す場合には先にロックナット⑥をゆるめる）シリンダーカップC⑦を押し上げて下さい。
- (B) フートブロック②の両側に取り付けてあるスプリングホルダー⑧を取外しスプリング⑨を引出して交換して下さい。

8) 振動ランマー故障早見表

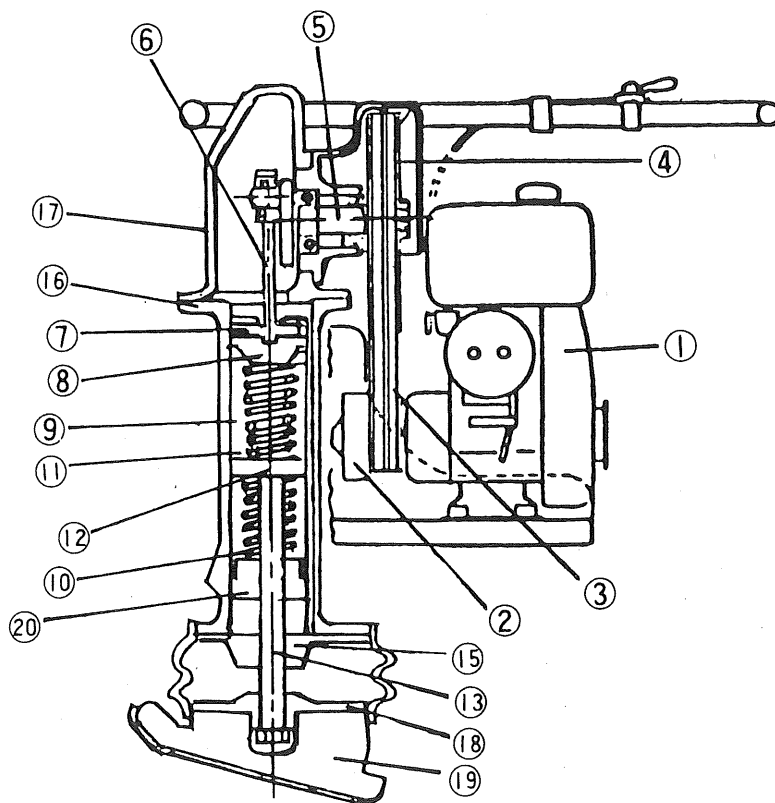
A 停止した場合



B 調子不良の場合

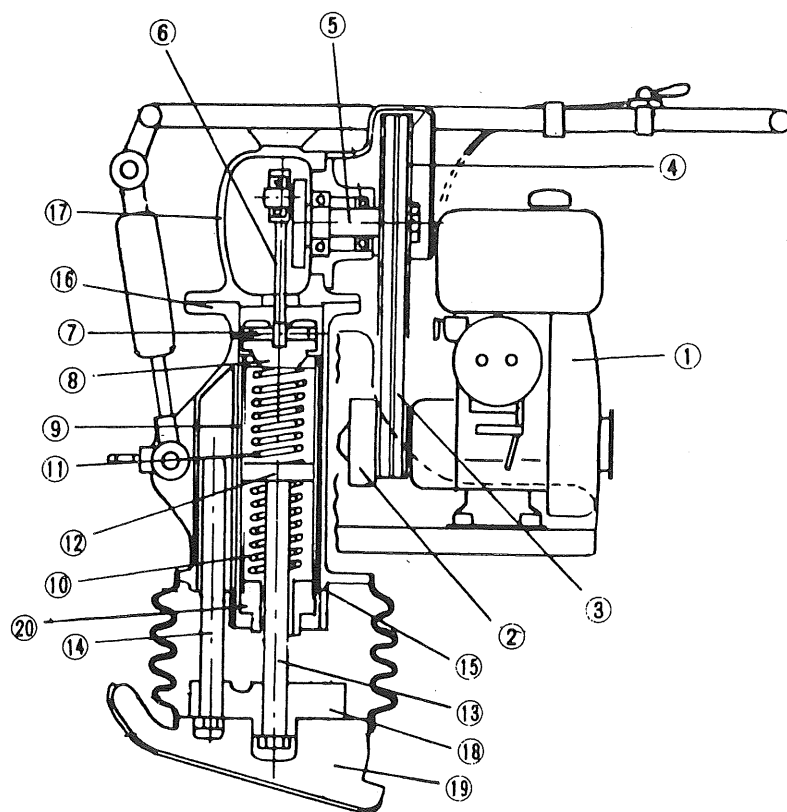


9) GR-600 部品表



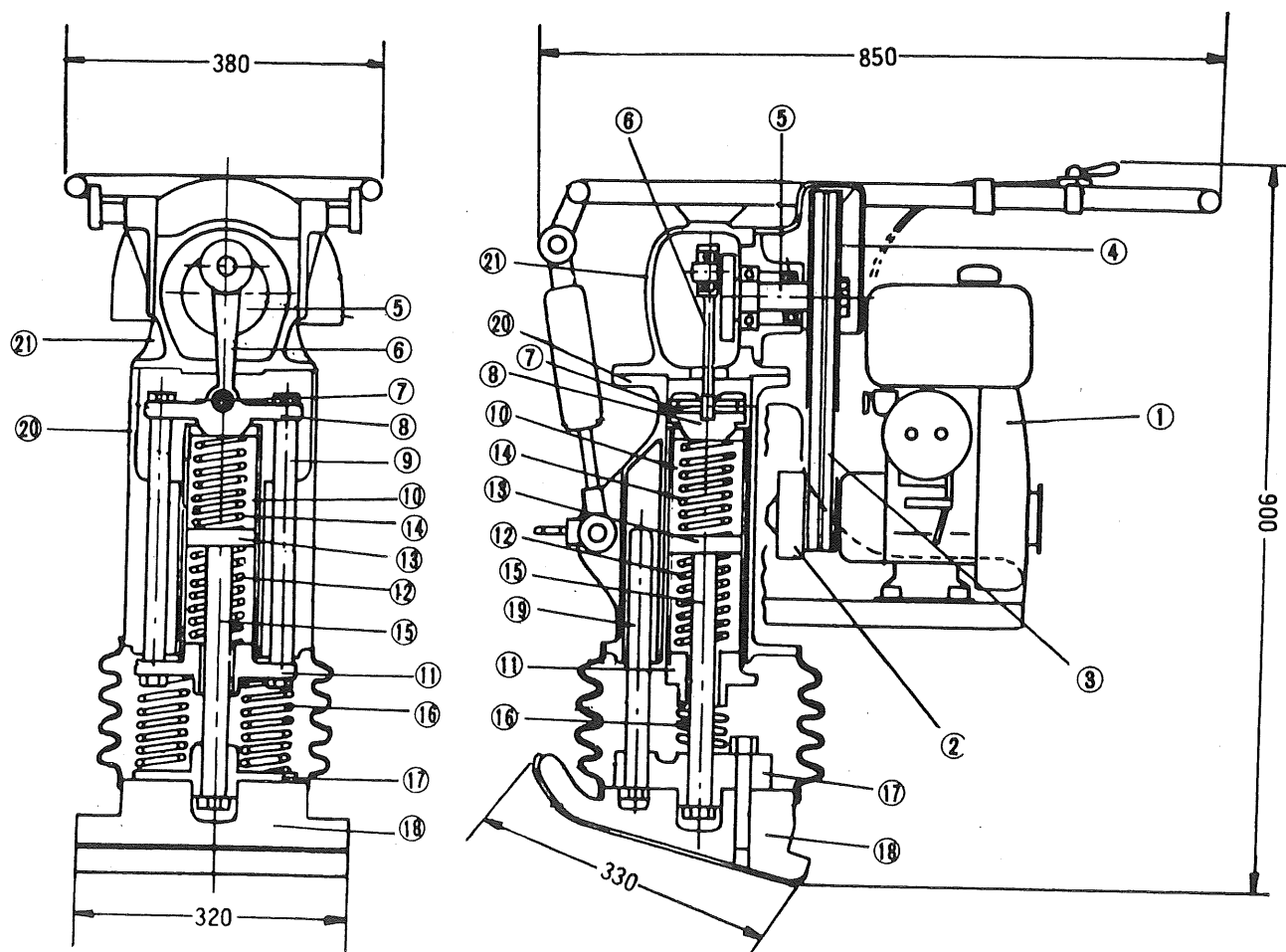
- | | | |
|------------|-------------------|-------------|
| 1 エンジン | 8 上部ボックス | 15 ガイドプレート |
| 2 遠心クラッチ | 9 内部シリンダー | 16 外部シリンダー |
| 3 Vベルト | 10 シリンダースプリング(2重) | 17 クランクケース |
| 4 Vプーリー | 11 シリンダースプリング(3重) | 18 フートブロック |
| 5 クランクシャフト | 12 ピストンガイド | 19 ランニングシュー |
| 6 クランクロッド | 13 センターシャフト | 20 下部ボックス |
| 7 ロッドピン | | |

10) GR-800、GR-900 部品表



- | | | |
|------------|-------------------|-------------|
| 1 エンジン | 8 上部ボックス | 15 ガイデングカップ |
| 2 遠心クラッチ | 9 内部シリンダー | 16 外部シリンダー |
| 3 Vベルト | 10 シリンダースプリング(3重) | 17 クランクケース |
| 4 Vプーリー | 11 シリンダースプリング(3重) | 18 フートブロック |
| 5 クランクシャフト | 12 ピストンガイド | 19 ランミグシュー |
| 6 クランクロッド | 13 センターシャフト | 20 下部ボックス |
| 7 ロッドピン | 14 ガイデングシャフト | |

11) GR-1000 部品表



- | | | |
|------------|----------------------|-----------------|
| 1 エンジン | 8 カップ A、B | 15 センターシャフト |
| 2 遠心クラッチ | 9 サイドシャフト | 16 サイドスプリング(1重) |
| 3 Vベルト | 10 内部シリンダー | 17 フートブロック |
| 4 Vプーリー | 11 カップC | 18 ランニングシュー |
| 5 クラックシャフト | 12 シリンダースプリング(下部) 3重 | 19 ガイディングシャフト |
| 6 クランクロッド | 13 ピストンガイド | 20 外部シリンダー |
| 7 ロッドピン | 14 シリンダースプリング(上部) 3重 | 21 クランクケース |

検査合格証

- この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。

検	査

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い
上ご不明の点があった場合にはご遠慮な
く全国各地のリョービ電動工具販売店、
リョービ販売各営業所にお問い合わせ下さ
い。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元



リョービ販売株式会社

〒464 名古屋市千種区春岡通り7の49
電話(052)761-5111